



茶木 万友美さん

市川別館 晴観荘  
群馬県伊香保温泉

石川県・加賀の宿宝

生亭の帽子山麻衣様よりバトンを受けさせていただきました。群馬県伊香保温泉・市川別館 晴観荘の茶木万友美と申します。

2021年度に入会し、昨年一度総会に参加させていただきました。ありがとうございます。

ます。

さて、伊香保温泉は天正4年（1575年）に傾斜地を利用し温泉街を形成したのが始まりと言われております。私どもは、明治

43年石段街中央にて「市川旅館」を創業。のちに祖父が「これからの世の中、車社会に



をもつてJKK

全旅連・女性経営者の会

リレーコラム Vol.167

なる！」と見通し、昭和32年9月、見晴台地区の1万5千坪の土地に「市川別館晴観荘」として営業し現在に至っております。石段街まで徒歩15分弱。今は賑やかになりましたが、当時は森の中の一軒宿でございました。今回、伊香保温泉の

お土産「伊香保湯の花饅頭」を紹介させていただきます。伊香保で売りに出されたのは明治43年。ルーツは江の島の「片瀬饅頭」。当時、伊香保―渋川間で走り始めた電車は、江ノ電の払い下げとこので関係者が江の島に出かけることが多く、

## 「温泉まんじゅう」発祥の地

たびたびお土産に買ってきたものがきつかけと言われております。伊香保も土産物があった方が良くと苦心を重ね「黄金の湯」の茶褐色の饅頭を作り上げ、試行錯誤の味「黒砂糖とカルメラ」で仕上げた。温泉饅頭となりました。全国各地にある温泉饅頭の先駆となったのです。

今では、手づくり饅頭のお店が6軒ほどございます。味もいろいろとお店の特徴があり、食べ比べも楽しいかと思えます。私は、昨年5月より体調が悪く、自律神経を臥してしまい、まだまだ一人で行動することに不安がありますので体調が戻りましたら、JKKの皆様にお会いし色々とお教えいただき勉強をしていきたいと思っております。どうぞよろしくご指導くださいませ。

それでは三重県・鹿の湯ホテル伊藤寿美子様へバトンをお渡しします。